

第2章 庁内協議会

2-1 庁内協議会の開催目的

日進市総合運動公園の再生整備に向けて、庁内の関連する各課から横断的に意見、提言を求め、必要な計画立案を行うため、日進市総合運動公園再生計画庁内協議会を開催する。

2-2 庁内協議会の開催概要

2-2-1 庁内協議会設置要領

以下に庁内協議会の設置要領を示す。

日進市総合運動公園再生計画庁内協議会設置要領	
平成28年6月30日決裁	
(設置)	
第1条 日進市総合運動公園再生計画策定に際し、平成27年度に「日進市総合運動公園再生整備調査業務」において検討された成果を踏まえ、庁内関係各課から横断的に意見、提言を求め、必要な計画立案を行うため、日進市総合運動公園再生計画庁内協議会（以下「協議会」という。）を設置する。	
(組織)	
第2条 協議会は別表に掲げる関係各課の主査以上の職員で構成し、協議会長を生涯学習課長とする。	
2 協議会長は、必要に応じて協議会を招集する。	
3 協議会長が必要と認めるときは、構成員以外の者の出席を求めることができる。	
(協議会の掌握事務)	
第3条 協議会は次に掲げる事項について協議を行う。	
(1) 日進市総合運動公園再生計画策定に向けた計画検討の協議	
(2) 日進市総合運動公園再生計画策定に向けた運営・維持管理のあり方の協議	
(3) その他協議会長が特に必要と認めるもの	
(庶務)	
第4条 協議会の庶務は、教育部生涯学習課において行う。	
(報告)	
第5条 協議会は、取りまとめられた意見及び提言等について、教育委員会に報告するものとする。	
(その他)	
第6条 この要領に定めるもののほか、必要な事項は教育委員会が別に定める。	
別表	
協議会の構成課	
企画政策課	財政課
市民協働課	教育総務課
都市計画課	生涯学習課

2-2-2 庁内協議会の委員

庁内協議会の委員を以下に示す。

日進市総合運動公園再生計画庁内協議会委員名簿		
【委員】		
所 属	役 職	氏 名
企画政策課	係長	横井 健
財政課	課長補佐	桃原 勇二
市民協働課	係長	岡田 剛
教育総務課	係長	鏡味 美己彦
都市計画課	係長	鷲野 淳一
【事務局】		
所 属	役 職	氏 名
生涯学習課	課長	可児 嗣久
	主幹	須崎 泰紀
	課長補佐	大川 貴之
	係長	伊戸川 雅毅
	主事	小栗 直晃

2-2-3 庁内協議会の開催内容

庁内協議会は、以下の内容で全3回実施した。

	開催日時	協議内容
第1回	平成28年9月7日	<ul style="list-style-type: none">本協議会の目的を確認日進市総合運動公園の現状と整備方針現地において、公園の現状を確認
第2回	平成28年11月30日	<ul style="list-style-type: none">日進市総合公園再生計画方針図の確認意見交換
第3回	平成28年12月27日	<ul style="list-style-type: none">日進市総合運動公園再生計画図（案）の確認再生計画スケジュール案、概算工事費について

2-3 庁内協議会の結果

2-3-1 第1回庁内協議会

(1) 次第

第1回 日進市総合運動公園再生計画庁内協議会 次第

日 時 平成28年9月7日(水)
午前9時30分から
場 所 日進市本庁舎第3会議室

1. 「日進市総合運動公園再生計画庁内協議会」について
2. 日進市総合運動公園の現状と整備方針について
3. 現地見学会
4. 意見交換

※当日の会議資料は巻末の参考資料に添付する。

(2) 議事要旨

第1回 日進市総合運動公園再生計画庁内協議会 議事要旨

1. 「日進市総合運動公園再生計画庁内協議会」について

- ・事務局より説明

2. 日進市総合運動公園の現状と整備方針について

- ・事務局より説明

【委員】

- ・ランニングコース等が具体的な事業としてあがっている。そんな中、ハード事業のみならずソフト事業を充実させるべき。
- ・NPOや大学との連携を行い、例えば駅伝の強豪である名城大学などを主体としたジョギング教室など検討を進めると良いと思う。
- ・また里山をもっとPRできると良い。NPOとの連携を図り芝生広場、庭園も含めて北高上緑地と並んで紹介できるようなものという方向性もよいと思う。

【委員】

- ・プールに関しては取りやめるのか存続させていくのか、非常に難しい決断だと思う。子供がいる立場からは当然存続して欲しいという意見は出ると思う。一方、プール管理者の立場からはよく報道されるような事故事例も多く、非常に神経をすり減らす施設だと思う。
- ・学校でもプールの維持修繕については重要な問題なので、総合運動公園のプールと重ね合わせながら発言を行っていききたい。

【委員】

- ・まさに今、市全体が直面している高度経済成長時代に建設された施設の老朽化を受けて、更新するのか、見直しして統廃合していくのか、生涯学習課だけでなく全庁的に直面している問題であり、興味深く説明を聞いた。
- ・現状の予算規模の話をするとう暗い話になってしまうが、魅力ある施設で定住化に寄与する魅力あるまちづくり、人口アップから税収・歳入確保につながるような計画、もしくは他市町との広域連携で施設を共同利用していくなど色々な観点から、お金を投入しても市として有効な施設であると判断できれば、企画政策課としても生涯学習課の応援をして施設の有効利用を図っていけると思う。

【委員】

- ・小さな公園と大きな公園の住み分け、特色ある魅力ある公園づくりということで都市計画課所管の公園にも色々な目が向けられている。
- ・総合運動公園の中には自然林、特に都市計画課管理の大清水湿地や里山が存在し、緑の基本計画で位置づけられているように東部丘陵から総合運動公園にかけて緑が続いている。その中でよりよい公園施設計画ができると思う。

【委員】

- ・プール利用者の 35,000 人と野球場の 28,000 人は近い数字のように見えるが、実は登録チームに所属する特定の方が利益を受けている施設と、ふらっと立ち寄って利用できる施設の違いとして、市民に与える影響はとてとても大きな差があるように思われる。
- ・利用者数と維持管理費で単純に論じるのは難しいと感じる。利用者の属性等も合わせて話ができれば議論が深まると思う。

事務局：今後の予定について

- ・今回これから現地で頂く意見を参考に基本計画（案）の計画図を作成し、このような計画でどうかという問いかけをさせて頂きたい。方向性・切り口について 2 週間程度を目途に皆様及び部署の方々のご意見を頂きたい。

3. 現地見学会

施設名	意見等
プール	<ul style="list-style-type: none"> ・表面上はきれいに見えるが。 ・大人 300 円、子供 150 円のコストパフォーマンスを考えると、十分集客力にある施設であるとの印象。 ・安易に廃止と論じてよいのか。但し十分な修繕は必要。
スポーツ広場	<ul style="list-style-type: none"> ・排水対策の土壌改良については小・中学校のグラウンドで多数実績があり、効果は大きいと思われる。
庭園	<ul style="list-style-type: none"> ・じゃぶじゃぶ池と併せて、魚つかみや成功事例である自然にいる昆虫を使った虫取り体験などのイベントを実施するのも面白い。 ・大清水湿地の影響でアプローチ部がべたべたになる時期がある。スロープ等の通路整備が必要では。
ランニングコース	<ul style="list-style-type: none"> ・概ね了承。
キャンプ場	<ul style="list-style-type: none"> ・テントは劣化しているが架台はまだ活用可能である。 ・テントサイト部分で火を使ってはいけないのか。デイキャンプのあり方、市の運用等の見直しが必要では。 ・魅力の一つとして大人の飲酒OKとしてもよいのでは。 ・安易に遊具を設置して維持管理費を拡大することは得策ではない。 ・ピザ釜等の集客につながるような施設を設置することは面白い試みだと思う。
駐車場	<ul style="list-style-type: none"> ・庭園やキャンプ場付近まで車の乗入れができると使い勝手が良くなるが、スペース的に困難か。
散策路	<ul style="list-style-type: none"> ・存在自体を知らなかったが、利用者に存在を知らしめるだけでも十分活性化するのではないか。 ・ウォーキングや散策等のイベントを絡めていくと面白い存在になる。

- ・全体的な意見として、こんなに近くに緑に囲まれた美しい自然を感じられる場所があまり知られていないという現状を打破すべき。また、既存の施設が思ったより充実しており、使えるものを十分に活用しながら市民にその存在等を宣伝して知らしめて活用してもらうことが大切との意見も得られた。

2-3-2 第2回庁内会議

(1) 次第

第2回 日進市総合運動公園再生計画庁内協議会 次第

日 時 平成28年11月30日(水)

午後3時から

場 所 日進市本庁舎第3会議室

1. 日進市総合運動公園再生計画方針図について

(1) スポーツ広場、裏山散策道、ランニングコース

(2) 芝生広場・中心広場

(3) キャンプ場

(4) 庭園

(5) その他(グランドゴルフコース、管理棟・プール)

2. 意見交換

※当日の会議資料は巻末の参考資料に添付する。

(2) 議事録

第2回 日進市総合運動公園再生計画庁内協議会 議事要旨

1. 日進市総合運動公園再生計画方針図について

(1) スポーツ広場、裏山散策道、ランニングコース

事務局より説明

都市計画課：

- ・大清水湿地付近はイノシシが出るらしいが、その辺りの安全対策は考えていますか。

事務局：

- ・この秋口になって全国的にイノシシが大発生している模様である。残念ながら総合運動公園にも相当数出ている様子で、庭園周りでの掘り返しも多数見られている。
- ・正直効果的な対策が難しく検討中という状況です。季節的な一過性の現象なら良いのですが。総合運動公園全ての周囲を柵で囲うのは費用的に厳しいと考えている。
- ・現状は指定管理者がポスターにより利用者に対して注意喚起を行っている状況。

【委員】

- ・産業振興課が実施計画でイノシシ対策として3kmで500万円の柵の見積りを提出していたため参考にすると良いと思います。

【委員】

- ・トイレの利用者数の把握についてですが、日常的な利用には十分な数とを感じるが、スポーツ広場での大規模大会開催時に不足しているように思われるため検討したほうが良いと感じる。

事務局：

- ・どの場面の需要を想定してトイレの数を決めるかが肝要である。今回は現況のトイレに対して単純にその施設のバリアフリー化という形で提案を行っている。管理棟内にも男女トイレ・車椅子用トイレがあり、その施設案内も十分に行われていない状況である。過剰投資とならないように配慮しながら計画を行っていく。

事務局：

- ・今後はパブリックコメントと教育委員会で計画の説明を行い、各施設の実施設設計の段階でワークショップ等により市民参加してもらいながら進めていく手法を考えている。

【委員】

- ・第3回の協議会で事業スケジュールと概算事業費を資料として出す必要があると考えますが。

事務局：

- ・もちろん出します。またそれに従って予算要求もしていきます。
- ・各施設の実施設設計を行う時期には既に翌年度の工事予算も決まっています。その

ため実施設計段階で市民参加していただいても何でもかんでも意見を取り入れるわけにはいかず、限りある予算の中で適切な設計・施工を行っていくこととなります。

【委員】

- ・再生コンセプト・ねらいから再生計画案を導き出したのが本日の資料からは読み解けない。分かり易い資料づくりを行わないとパブリックコメントの際にも市民が混乱を生じる可能性がある。
- ・トレイルランニングと散策道を分けるのは普通の手法なのか。

事務局：

- ・コースを平行に分離するケースもある。歩行者と走行者のスペースを幅員の狭いところで同列で存在させるのは危険を伴う、かつ保安林内で樹木の伐採・幅員の確保がままならないためエリアを分けてしまおうという発想です。
- ・現状は案内をろくに行っていないので利用者は少ないですが、その充実を図ることで利用者を増加させたいと考えています。

(2) 芝生広場・中心広場、(3) キャンプ場

事務局より説明

【委員】

- ・日進市にはバーベキュー場などが多く存在しないので市民の関心は高いと思う。これらの施策こそ市民参加ワークショップの良いテーマになると思う。上手くやれば市民の方々がたくさん利用して、ここから集客が始まると思う。
- ・健康器具の必要性、狙いが分かりにくい。芝生広場での考え方、中心広場での考え方が上手く説明できないとその必要性が見えてこない。

【委員】

- ・他の公園では健康器具の設置に否定的である。

事務局：

- ・利用者が増加すれば皆使ってくれる。健康をメインにした遊具かゲーム性の高い遊具かという細部は実施設計で詰めていけばよい。

【委員】

- ・再生コンセプトはこれまでのスポーツ施設一辺倒から、子供も高齢者も来やすい施設に変える、健康をテーマに都市公園としての機能を充実させ憩いの場としても充実させるとしている。現在機能と新規機能のどれもこれもを手当たり次第着する計画となっていないか。

事務局：

- ・一つの機能だけでなく様々な機能があれば利用者の満足度が上がっていく。市民が利用して市の資源としてある程度の機能は詰め込みたい。

【委員】

- ・中心広場は広大な芝生をメインとして、ランニングコストもかかる健康遊具は必要ないものとする。一方ランニングコース脇の健康遊具は、健康というキーワードから説明が可能とする。
- ・今の日進市としてはバーベキューは良いとしてもキャンプ場・宿泊施設に大きな費用を投下して維持管理する必要性は感じない。

【委員】

- ・市内の学校では維持管理費削減の考えから複合遊具をなくしていく方向である。総合運動公園のような施設で複合遊具が設置できて学校からなくなる機能を補えるならありがたい話だが。

【委員】

- ・学校がコスト面からそのようなスタンスであるならば、総合運動公園でも同様にしていくべきだと思う。

【委員】

- ・レストコーナーのシェルターを縮小するという件ですが、通常の公園では休憩スペースとしてのベンチ、シェルター・屋根による日陰を求められています。

(4) 庭園、(5) その他(グランドゴルフコース)

事務局より説明

【委員】

- ・子供の着替えに関して変質者への対策が必要となる。

【委員】

- ・じゃぶじゃぶ池はろ過器、ポンプ循環と高額な費用がかかるのでは。当然維持管理コストもかかってくる事となる。

事務局：

- ・色々なイメージ写真が混在しているが、上から3番目の写真(じゃぶじゃぶ池)がイメージに近い。現状は井戸水を汲み上げて流しっぱなしにしている状況で、特に水質検査等を行っているわけではない。岩藤の湧水はきれいであるとの認識だが。

【委員】

- ・大清水湿地からはソブ水が出ると聞いている。ソブ自体は害ではないが見た目が嫌われる。水質検査の課題がある。
- ・野方三ツ池公園のじゃぶじゃぶ池も一見傾斜がゆるそうだが、利用者からはきついという意見がある。丸玉石の洗い出しは夏場にぬるっとすべる危険性もある。実施設計時には気をつけたほうが良い。またビオトープは過去に上手くいかなかった実績がある。難しいと考える。

【委員】

- ・グラウンドゴルフの天然芝の管理もお金がかかる。

事務局：

- ・愛知県では土のグラウンドでの大会が多いが、他県では芝のグラウンドでの大会もありその練習場所がない状況である。他の利用者に影響を与えないエリアで何コースかあると高齢者の健康づくりに役立つ施設となるとの計画です。人工芝では大会用としては役に立たないそうです。

【委員】

- ・グラウンドゴルフのためだけに多額の資本を投入するのは抵抗がある。これから整備するものはあらゆる人にある程度門戸が開かれていないといけない。

(5) その他（管理棟・プール）

事務局より説明

【委員】

- ・平成 29 年度にプール存続の政策判断を行うのですか。

事務局：

- ・ご指摘の計画は平成 25 年度に策定されているプール長寿命化計画の記載であり、現状はそのスケジュール通りには進捗しておりません。平成 39 年度以降にプールが寿命を迎えるため取壊し、リニューアルするという工程は決まっています。それまでに十分な基礎資料を整えて、十分な議論を行い、十分に市民からも意見を頂いてどのような形でリニューアルするかという政策判断を行う必要があります。
- ・年間 4 万人程度が利用する施設であり、十分な議論が必要です。管理棟はプールと一体的な施設であるため併せて整備を行います。

【委員】

- ・再生計画の中にプールは含めるのですか。

事務局：

- ・直接的には含めない。触れるかどうかは検討中です。

事務局：

- ・今日頂いた宿題をもとに計画修正を行い、概算金額の算出、スケジュール案を作成して、年内にもう一度協議会を開かせていただきます。そこでご了承頂いて来年のパブリックコメントへ向けていこうと思います。

2-3-3 第3回庁内会議

(1) 次第

第3回 日進市総合運動公園再生計画庁内協議会 次第

日 時 平成28年12月27日(火)

午前10時から

場 所 日進市南庁舎第5会議室

1. 日進市総合運動公園再生計画案図について

(1) スポーツ広場、裏山散策道、ランニングコース

(2) 中心広場

(3) 芝生広場、キャンプ場

(4) 庭園

(5) 多目的芝生広場(グランドゴルフ・マレットゴルフコース)

2. 再生計画案スケジュール(案)、概算工事費について

3. 意見交換

※当日の会議資料は巻末の参考資料に添付する。

(2) 議事録

第3回 日進市総合運動公園再生計画庁内協議会 議事要旨

1. 日進市総合運動公園再生計画方針図について

事務局より説明

【委員】

- ・キャンプ場の整備はどこまでやりますか。

事務局：

- ・現段階ではどの施設（机、イス、コンロ等）まで設置するか等詳細なことは決めておらず、イメージとしてこの配置でどうかという是非を判断する段階である。
- ・もしかしたら詳細な検討を今後行った結果、芝生広場までバーベキュー場が広がる等の可能性もあります。あくまでも今回は大枠を固めることが目的です。
- ・詳細については詳細設計時に設計時に市民にもご参加頂いて、その時々予算も勘案しながら詰めて行きたい。

【委員】

- ・当初炊事場の改修も案としてあげられていたが今回の資料ではなくなっている。現状で何か使用上問題があるのではないか。

事務局：

- ・柱部の腐食という問題を抱えていたが、今年修繕工事を実施した。毎年行っていく維持修繕で対応するものは対応していき、使い方を根幹から変えようというものを当初計画としてあげさせて頂いた。しかし全体的なコスト削減という考え方に対応するため、今回の案では使える施設は極力有効活用する計画に変更させて頂いている。

【委員】

- ・大学やNPOのノウハウから経費削減を探ってみてはどうか。

事務局：

- ・設計の際に参加してもらうメンバーとして知見のある方々にご参加頂き、意見を頂戴するなどして取り組んでいこうと思う。

【委員】

- ・グラウンドゴルフは4ホールしか設置できないのか。

事務局：

- ・12ホールまでの配置図は描けますが、天然芝の施設をイメージしていることから日照、メンテナンス等を考慮して4ホールの計画図としております。施設として人気が出れば将来的な増設や人工芝化も検討課題としてある。
- ・基本的にグラウンドゴルフはスポーツ広場を利用して土のグラウンドで協議を行っている。芝はあくまで練習やレクリエーション用と捉えている。

【委員】

・料金設定は考えていますか。

事務局：

・料金を取る取らないも含めてこれから検討していく必要がありますが、なるべく利用料を取りながら集客を増やす、好循環が可能な仕組みづくりを行いたいと考えています。

・プールについてはプール長寿命化計画が H25 年度に策定されておりまして、H39 年までは今のプール施設を極力維持し、その後プールを存続するのか、やめるのか、若しくは規模を縮小していくのか。10 年後に来るリニューアルの時にどうするかという政策的判断が必要となりますので、その時に適切な判断ができるように基礎資料づくり（市民意見・他事例の収集、利用者数と料金のバランス、維持管理費等）をやっていく必要があります。

・基礎資料のメニューについては本業務で行っていきませんが、再生計画からは一つ外させて頂こうと考えております。ある程度のデータ収集、方針出しを行った段階で政策的判断をお示しし、市民の意見を頂ける状態で計画の公開を行っていく予定です。

2. 再生計画案スケジュール（案）、概算工事費について

事務局より説明

事務局：

・排水対策の設計などは土木的な工事内容となるため市民参加して頂いてもあまり意味がなく、資料で示したキャンプ場・ジャブジャブ池・トレイルランニング・広場などの設計での市民参加により面白いものが出来上がっていくのではないかと考えている。

・このスケジュール案に沿って実施計画、予算計上を行っていくが、財政上厳しい中で目標値という取扱いを行っていく予定である。

【委員】

・市民参加を丁寧に計画しているが結構手間がかかる。一つは再生整備計画全体の市民参加、もう一つは各施設の計画時の市民参加となっているが、2つ3つの施設をまとめて市民参加型の設計を行うと効率的な形になると思う。

3. 意見交換

事務局：

・プールについてはプール長寿命化計画が H25 年度に策定されておりまして、H39 年までは今のプール施設を極力維持し、その後プールを存続するのか、やめるのか、若しくは規模を縮小していくのか。10 年後に来るリニューアルの時にどうするかという政策的判断が必要となりますので、その時に適切な判断ができるように基礎

資料づくり（市民意見・他事例の収集、利用者数と料金のバランス、維持管理費等）をやっていく必要があります。

・基礎資料のメニューについては本業務で行っていきませんが、再生計画からは一つ外させて頂こうと考えております。ある程度のデータ収集、方針出しを行った段階で政策的判断をお示しし、市民の意見を頂ける状態で計画の公開を行っていく予定です。

【委員】

・なるべく十分な費用を費やしてしっかりしたものを作って欲しい。そのためにも今後は補助金についても考えていったほうが良い。

事務局：

・補助金についてはアンテナを立てていこうと思います。総合運動公園単体で長寿命化計画を作って社会資本整備交付金を取りに行くという方法もあるらしいが、市全体で公共施設等総合管理計画を策定している中で、総合運動公園だけが異なった長寿命化計画を持つことは足並みが揃わないという状況もある。

【委員】

・企画政策課も勉強していく必要があると考えています。財政課と知恵を出し合っ
て単費だけで負担とならないよう対応していきたい。

【委員】

・当初は本計画のレベルを求めていく。しかし予算状況によってはその中でやれる範囲のものを市民と協働の上、納得できるものを考えていく必要がある。

【委員】

・詳細設計時に我々職員はタッチできないのか。

事務局：

・メンバー選定も含めてこれから考えていく状況なので、職員が参加することは可能です。維持管理等についてもノウハウのある職員に是非参加頂き設計を進めて行きたい。